

指定管理者評価シート

事業名	札幌コンベンションセンター	所管課(電話番号)	経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課(011-211-2376)
-----	---------------	-----------	---

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌コンベンションセンター	所在地	札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号
開設時期	平成15年6月1日	延床面積	20,310㎡
目的	内外の優れたコンベンションの開催の場を提供することにより、人々の来訪や交流を促し、もって地域経済の活性化及び市民文化の向上をはかる。		
事業概要	大ホール、特別会議場その他の施設を使用に供すること。その他センターの設置目的を達するために必要な事業。		
主要施設	大ホール、中ホール、小ホール、特別会議場、会議室(15室)、レストラン		
2 指定管理者			
名称	SORA-SCC共同事業体(代表団体:(株)コンベンションリンケージ、構成団体:(株)東洋実業)		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、コンベンション誘致業務、施設使用承認業務、事業の計画及び実施業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和5年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌コンベンションセンター条例における設置目的を理解しその実現に向けた取り組みを行った。そのための基本方針として ①札幌コンベンションセンター条例における設置目的を理解し、国際会議・大型医学会及びインセンティブツアーの誘致件数増加、稼働率アップに努める。 ②「地域連携×国際交流」の機会創出を積極的に行う。 ③高品質で環境に配慮した施設づくりを行う。 以上の3点を定めた。 ①来場者数は、昨年度と同等の17万人となった。 ・会議別コンベンション件数では、全国が23件開催となり、海外は5件開催となった。規模別コンベンション数では1001人以上が29件となった。 ・次年度以降について、新たに10件の大型学会・インセンティブ・国際学会の札幌コンベンションセンター開催が決まった。	国際・国内会議の積極的な誘致を継続して行った。 札幌市・札幌国際プラザ、札幌コンベンションビューローとの連携を基本に、JNTO・観光庁・北海道運輸局・北海道庁等との情報交換も密に進めた。 ホームページについてウェブアクセシビリティ「JIS X 8341-3:2016」に基づき引き続きAA準拠を達成した。案内地図の見直しや館内図面等の資料の見直しを行い、アクセス数は63万と前年比126%となった。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td style="background-color: yellow;">B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> ・コンベンション開催件数は回復傾向にあり、着実に開催件数も復調しているとともに、令和6年度以降の学会等の誘致活動を精力的に行っており、その役割は果たされている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

②地域連携×国際交流 ・白石警察署の協力のもと、テロ対策訓練を実施した。 ③施設職員全員が館の機器制御の仕組みを理解する研修を引き続き行い、エネルギー使用量の抑制に努めた。 ・設備維持管理においては、通常清掃およびセンター美化活動を前年度同様に行い、施設全般の清潔さを維持・向上し、清掃状況は90.5点と高い評価を受けた。 ・感染症予防対策において国際的な衛生基準を満たした施設として、『GBAC(ジーバック) STAR Facility Accreditation (GBAC STAR™認証)』を継続して取得した。	国際情勢の緊迫化を受けて、札幌コンベンションセンターに不審者が侵入した場合を想定したテロ対策研修を実施した。	・地域管轄する警察署と連携してテロ対策訓練を実施したり、GBAC STAR™認証を継続取得するなど、施設利用者の安全面に配慮した施設運営を行っており、要求水準は達成していると認められる。
▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ・センターの運営につき条例や施行規則等によりセンター設立趣旨を再度理解する研修を実施し、法令を遵守し、公正・公平な運営を行う等方針を策定し、徹底をした。 ・またホームページ上では、主催団体より公開許可を得られた催事情報を可能な限り積極的に公開した。 ・ホームページについてウェブアクセシビリティ「JIS X 8341-3:2016」は引き続きAA準拠を達成した。	大型MICE誘致と並行して、条例に沿った平等利用の確保に努めた。特に稼働率が高くなると中小規模や地元利用の確保が難しくなるため、主催者と十分に連携し、実施検討状況を正確に把握した。	・開催規模を正確に把握し、施設整備を最適に割り振ることによって公正・公平な運営に努めており、要求水準は達成していると認められる。
▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ア ガス使用量について ・年間ガス使用量は、前年比127.3%となった。 ・夏期間(7月～9月)は、各種省エネ対策による冷房負荷の低減と、設備機器稼働時間の調整により削減に努めた。 イ 電気使用量について ・電気使用量は、前年比99.0%となった。 ・各種省エネ対策をはじめ、大ホール照明については調光機能付きのLED照明のため、こまめな調光による照度調整により電気使用量の縮減に努めた。 - その他、修飾用照明の消灯、空調稼働時間の短縮、換気設備の抑制、網戸換気による温度調節、等を実施した。 ウ LEED認証の取得に取り組んだ。 エ 水道使用量について ・年間水道使用量は、前年比128.3%となった。 ・年間を通して水量調整弁による水量調整、漏水点検等により削減に努めた。 ▼ゴミ分別研修を実践し、ゴミの分別を強化。リサイクル可能なごみを再生ごみに分ける率を高めた。	省エネ対策を引き続き積極的に推進し、基本的な館内構造は不変の中で各種省エネ対策により、使用エネルギー量低減を達成した。 年間の光熱水使用量はその年の気温変化、催事の入込状況特に展示会やイベントの件数に左右される。令和5年度については、札幌市に毎年報告している、「原油換算エネルギー使用量」においては、前年比105%となった。 来場者数は前年度と同水準であったが、事業系廃棄物総量も24.7tから16.5tへと減少し、前年比66.8%となった。再利用対象物比率については、古紙回収が減少したことにより、53.9%から41.2%に減少した。	・各光熱水使用量については、展示会やイベントの参加者総数が前年度比約2.3倍に増加したことに関連して、一部が前年度を上回ったが、使用量削減努力は継続している。 ・LEED認証の取得については、札幌市も他都市に先駆けて実施している取組でもあり、引き続き取得に向けた積極的な取組を期待する。 ・事業系廃棄物の総量について、参加者総数が前年と同水準にもかかわらず、大幅に削減している。 ・各項目において環境に配慮した取組を実践しており、要求水準は達成していると認められる。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼統括管理責任者を定め、その下で組織整備し、従事者を配置した。
- ▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼人材育成においては、年間を通して研修を実施した。
- ▼社員研修を以下の通り実施した。

- ①ホスピタリティ向上・MICE人材育成に関する研修
- ・人材育成及び、マネジメント研修・年間10回実施
 - ・MICE誘致・営業研修・毎週
 - ・英語接客研修・2月
 - ・主催者用インターネット回線の情報技術研修・2月
 - ・WebアクセシビリティJIS X 8341 - 3 :2016研修・2月
 - ・顧客満足度向上研修・2月

- ②設備・安全関連の研修
- ・設備業務研修・年間12回
 - ・館内空調設備の特性理解、省エネ対策の講習・9月
 - ・警備員教育(法定)・7月・2月
 - ・清掃業務研修(法定)・7月・11月
 - ・新駐車場管制システム研修・11月
 - ・環境配慮・省エネ研修・11月
 - ・防火管理実務講習会受講・2月
 - ・テロ対策研修・8月
 - ・非常用設備取扱研修・3月

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

共同事業体の定例会議のほか、実務者全体会議、グループ会議等を最低月1回定期的に行うとともに、イントラネット、クラウドストレージ等を利用して情報共有および改善事項・依頼事項等の意見交換を行い、業務の向上に努めた。

交代でホスピタリティ・コストパフォーマンス・安全管理に関する問題提起を行い、見識を深めた。組織横断的な各種委員会により業務改善並びに情報共有を一層強化した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

レストラン運営事業、舞台技術業務、各種設備保守点検を第三者委託とし、業務が適正に履行されるよう管理監督を行った。委託先とは都度協議を行い、サービスクオリティを向上するための協力を得て、業務履行していることを確認した。

テロ対策研修は北海道警察、白石警察署と連携して計画をたてる等、行政と一体となった取り組みを行った。

・研修の種類は多岐にわたり、施設の稼働に関するものだけでなく、利用者の利便性や満足度上昇を目的とした研修も実施しており、要求水準は達成していると認められる。

・問題提起を意識的に行う場を設けることで、管理水準の向上を図る組織体制の構築が図れている。

・委託業務の管理は適切に図れている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 6月28日	・誘致/営業・主な予約催事 ・令和5年度修繕・備品実施計画
第2回 10月6日	・誘致/営業・主な予約催事 ・令和5年度修繕・備品実施計画
第3回 12月25日	・誘致/営業・主な予約催事 ・令和5年度修繕・備品実施計画
第4回 3月29日	・誘致/営業・主な予約催事 ・令和5年度修繕・備品実施計画
＜協議会メンバー＞ 札幌市・コンベンションリンケージ・東洋実業	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分経理を実施するとともに共同事業体の代表団体による会計監査を実施している。また、現金の取扱については、取扱規定に基づき適正に管理を行った。

▽ 要望・苦情対応

▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、職員に周知している。

▼ ホームページ上に「お客様の声」ボタンを設置し、意見を寄せられた方へは迅速に対応し、適切な処理を行った。

▼ 身障者駐車場の台数が不足する場合があります、混雑状況や問合せ状況から判断して入口に近い身障者駐車場を臨時で増やす対応を行った。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ 施設内にアンケートボックスを設置するとともに、自主事業開催時での配布、催事終了時での主催者への依頼等を積極的に行い、客観的な指針の一つとしてサービス向上に努めた。

▼ セルフモニタリングにより業務改善を行った。

大型修繕や敷地内禁煙の状況等の定例協議に加えて、MICEの誘致や開催状況について新たに協議・情報提供を行った。

・施設の管理に係る定例の協議事項だけでなく、MICE誘致に係る営業の進捗状況や大規模修繕にあたり懸念している事項の相互確認など、様々な議題を通して札幌市との情報共有が図れており、要求水準は達成していると認められる。

・資金管理は適切に図れている。

意見、要望に対しては都度適切に対応し、利用者の立場に立ったサービスの提供を図ることが出来た。

・利用者等の様々な声を拾うことができる体制を整えている。

受動喫煙を減らす取り組みについては、平成31年4月1日からのセンター敷地内全面禁煙を受け、主催者への説明だけではなく、来館者への啓蒙を行っている。

・アンケートボックスのような受動的に評価を受ける仕組みだけでなく、積極的に利用者のニーズを拾う動きも継続して実践しており、要求水準は達成していると認められる。

電話等の問合せ内容からも来館者のニーズをくみ取ることにも努めている。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ▼ 関係法令を遵守し、必要な届出は監督官庁に行なった。 ▼ 職員に対する給与、賃金等の支払を適切に行なった。 ▼ 労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼ サービスの向上のため、各部門別および全体で定期的にミーティングを行った。毎日の朝礼では、安心安全・コストパフォーマンス・ホスピタリティ等を題材に全員が発表を行い、意見交換、意識の向上に努めた。 ▼ ワーク・ライフ・バランスの取組(振替休暇制度やさっぽろ市民子育て支援宣言等)を適切に実施した。	育児時短・育児休業制度を利用して、働き続けられるよう制度・業務の両面からサポートした。 朝礼において各自の気づきを発表することにより業務の分担も進み、適切な総労働時間の維持につながっている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">・労働関係法令の遵守については、業務検査及び財務検査により適切に履行されていることを確認しており、要求水準は達成していると認められる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	・労働関係法令の遵守については、業務検査及び財務検査により適切に履行されていることを確認しており、要求水準は達成していると認められる。											
A	B	C	D																
・労働関係法令の遵守については、業務検査及び財務検査により適切に履行されていることを確認しており、要求水準は達成していると認められる。																			
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼ 樹木・外壁等の事故を未然に防ぐため、定期的な外周点検を行い、利用者の安全に努めた。除草剤散布や樹木消毒の際に通行者に影響がないように作業方法を改善した。 ▼ 不審者対応、防災計画、震災時、避難所開設等のマニュアルを整備し、適宜それに応じた研修・訓練を行った。 ▼ 緊急連絡網を整備し、職員並びに札幌市はじめ関係機関に周知をはかった。 ▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼ 施設・設備等の維持管理については仕様書の通り、業務を遂行した。 ▼ ファシリティマネジメントの観点から予防保全実施項目を札幌市と協議し、施設の経年劣化を最小化し、施設の長寿命化を図った。修繕の優先順位や計画的な予算確保のための情報提供を行った。 ▼ 空調機用インバーター更新、低圧コンデンサー更新、断熱フィルム貼付などを行い、施設機能維持・向上に努めた。 ▽ 防災 ▼ 消防法の規定に基づき、消防用設備等の点検を実施した。 ▼ 消防用設備の不具合箇所については速やかに改善工事を実施した。 ▼ 防災訓練および職員への研修を実施し職員の意識向上につなげた。 ▼ 札幌市の基幹避難所として備蓄物資の保管など有事の際の体制作りにも努めた。 ▼ 基幹避難所の役割強化	各種訓練、研修を継続し、防災・防犯意識の向上並びに来館者・地域住民の安全確保の強化を図った。 維持管理は、法令遵守、安全確保、省エネ推進を大前提に、効果的・効率的に実施した。 美化に関して、仕様基準以上の清掃と共に、美観を損なう箇所・物品の修繕・撤去を積極的に実施している。下見・来館者から、経年よりずっと新しく感じると評価頂いた。 ミネラルウォーター備蓄、災害時対応の自動販売機完備等の他、危機管理委員会が継続的に非常時の対応強化に取り組んだ。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">・敷地内を通勤等の経路に設定している市民も相当数いるため、安全面に十分配慮しながら美観維持に努めている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・本施設は開設から約20年が経過しているが、修繕が必要な箇所やその優先順位について、札幌市と適宜協議することで、効率的な修繕が図れており、美観が維持されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・飲料水の備蓄や避難所開設等に係るマニュアルを備えるなど、札幌市の基幹避難所としての役割を担っており、要求水準は達成していると認められる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	・敷地内を通勤等の経路に設定している市民も相当数いるため、安全面に十分配慮しながら美観維持に努めている。				・本施設は開設から約20年が経過しているが、修繕が必要な箇所やその優先順位について、札幌市と適宜協議することで、効率的な修繕が図れており、美観が維持されている。				・飲料水の備蓄や避難所開設等に係るマニュアルを備えるなど、札幌市の基幹避難所としての役割を担っており、要求水準は達成していると認められる。			
A	B	C	D																
・敷地内を通勤等の経路に設定している市民も相当数いるため、安全面に十分配慮しながら美観維持に努めている。																			
・本施設は開設から約20年が経過しているが、修繕が必要な箇所やその優先順位について、札幌市と適宜協議することで、効率的な修繕が図れており、美観が維持されている。																			
・飲料水の備蓄や避難所開設等に係るマニュアルを備えるなど、札幌市の基幹避難所としての役割を担っており、要求水準は達成していると認められる。																			

(4)事業の計画・実施業務

▽ コンベンション誘致・営業に関する業務

▼ 国際会議・国内大型会議・インセンティブパーティーについて積極誘致を継続して行った。国内での開催、又は札幌市での開催が未定の段階から、ビッドペーパー・助成金手続きなど積極的支援を継続した。札幌市内だけではなく、東京の学会事務局やインセンティブ誘致中の代理店等へ積極的に営業を行った。

▼ 札幌市・札幌コンベンションビューローや政府・国連・JNTO・大学研究機関等との連携強化に努めた。

▼ 国際会議営業については、主に国内都市間競争のための提案書を作成して積極的な誘致活動を行い、現在も引き続きアプローチ中である。

▽ 主催者へのサービス提供業務

▼ 「新型コロナウイルス感染症拡大対策ガイドライン」を遵守し、アルコール消毒液の設置、利用者等への注意喚起及びマスク着用等の徹底に努めた。

▼ 主催者の利便性を高めるワンストップサービスのレベルアップを継続している。従来の事前準備から当日運営に関わる業務サポートに加えて、オンライン配信の提案を積極的に行った。

▼ 館内の情報コーナー・デジタルサイネージでは、札幌市観光情報・シャトルバス助成金等の情報提供を積極的に行った。

当センターで行われた大型国際会議や大型インセンティブツアーの写真を活用し、積極的に営業活動を行った。

主催者・参加者から好評を得ているワンストップサービスやコンサルティングサービスについても、さらに利用者に周知し、利便性を高めていく。

催事内容を積極的に把握し、必要なサービスやシャトルバス助成金等の提案・情報提供を主体的に行っている。

A B C D
・単独での誘致活動に加え、札幌市や札幌コンベンションビューローといった関係機関と連携し積極的に誘致活動に取り組んでおり、要求水準は達成していると認められる。

・サービス面を強化することで主催者側の事務負担が減れば、再び会場として選んでいただく可能性も高まることから、主体的にサービスを提供する取組については、要求水準は達成していると認められる。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

名称	R4実績	R5計画	R5実績
大ホール	72.1	80.0	79.7
中ホール	42.8	60.0	68.7
小ホール	54.0	60.0	61.0
特別会議場	48.3	60.0	43.4
会議室(15室)	50.0	60.0	87.4
来館人数	174,075		173,457

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件

▽ 利用促進の取組

▼ 会場の空きがないと回答した主催者へ、別な日程の提案やキャンセルが出た際の案内を的確に行い利用につなげた。

▼ 新型コロナウイルスの影響により、参加者を会場に集めての開催ができなくなった主催者に対して、ライブ配信会場としての利用を案内した。

▼ また催事内容を見て稼働率が比較的に低い特別会議場での開催が適する場合は、特別会議場を利用いただけるよう努めた。

▼ 施設の経年劣化の対策として、予防保全を行った。また貸出備品の営繕、備品の新調等協議をしながら行い、利用者の不便を軽減させることが出来た。

稼働率について、大ホール・中ホール・小ホール・会議室は前年を上回る結果となった。来館者数については、大規模改修工事のため9月30日から休館したこともあり、前年度と同等の数字となった。

利用者からのライブ配信の要望に迅速に対応し、ライブ配信会場での利用やハイブリッド開催の提案を引き続き行っていく。

A B C D
・稼働率は、特別会議場を除く諸室について令和4年度の実績を上回っており、中ホール・小ホール・会議室については計画目標値も上回っている。
・諸室別稼働率の各目標を達成すべく、ソフト・ハードの両面で利用促進を図っており、要求水準は達成していると認められる。

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ ホームページについて、ウェブアクセシビリティ「JIS X 8341-3:2016」準拠を継続。 ・アクセス件数:令和4年度502,720件、令和5年度633,154件、126%増加した。 ▼ 施設内に設置している情報コーナーやポスター掲示コーナーには、札幌市の施策にかかる情報を積極的に広報した。デジタルサイネージを活用し、情報表示も行った。 ▼ GBAC STAR認証を取得したことをHPに掲載し、札幌コンベンションセンターの衛生環境が国際基準を満たしていることをPRした。 ▼ 各種委員として活動した。 ・さっぽろ MICE 推進委員会 ・札幌市国際観光誘致事業実行委員会 ・札幌市国内観光プロモーション実行委員会 ・白石区ふるさと会(役員) ▼ 研修・見学など受け入れ、各種協力 ・国際会議、インセンティブパーティーなどの視察対応を行った。	ホームページは引き続きAA準拠を達成するとともに、常に最新の情報を提供するよう心掛けた。 館内サイネージ、情報コーナー、ポスター掲示コーナーにおいては札幌市の施策にかかる情報を積極的に掲示した。	A B C D ・MICEが回復基調にあることにより、コロナ禍で開催を控えていた主催者も積極的にMICE開催を検討することになり、ホームページのアクセス数も増加したものと思われる。 ・本市が誘致する国際会議の視察等への対応は非常に協力的であり、要求水準は達成していると認められる。												
	▽ 引継ぎ業務 (引継業務なし)														
2 自主事業その他															
▽ 自主事業 ▼ 自主開催(共催、後援、協力含む) <table><tr><th>月</th><th>名称</th><th>形態</th></tr><tr><td>7月</td><td>白石区ふるさとまつり</td><td>主催</td></tr><tr><td>8月</td><td>プラレール博 in SAPPORO</td><td>共催</td></tr><tr><td>8月</td><td>市民公開講座 ※第35回国際電波科学連合総会との連携事業</td><td>共催</td></tr></table> ▼ 飲食物販 ● レストラン事業を行った。 ▼ その他手数料収入等 ● 弁当・ケータリングサービスを行った。		月	名称	形態	7月	白石区ふるさとまつり	主催	8月	プラレール博 in SAPPORO	共催	8月	市民公開講座 ※第35回国際電波科学連合総会との連携事業	共催	左記記載の通り、自主事業を実施した。 白石区ふるさとまつりは25,000名、プラレール博 in SAPPOROは40,000名が参加した。	A B C D 主催・共催のどちらも多くの方が参加しており、要求水準は達成していると認められる。
月	名称	形態													
7月	白石区ふるさとまつり	主催													
8月	プラレール博 in SAPPORO	共催													
8月	市民公開講座 ※第35回国際電波科学連合総会との連携事業	共催													
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ 第三者委託はおおむね市内企業に発注した。 ▼ 管理業務には、障がい者を雇用した。															

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	施設内にアンケートボックスを設置するとともに、利用者及び来場者に対してアンケートを実施した。5段階の回答を数値換算して100点満点とし、各項目90点以上を目指した。(目標回答件数300件に対し、回答件数164件)		
結果概要	①センターの総合的な印象について	90.6点	
	②スタッフの対応について	90.2点	
	③サービスの提供について	91.1点	
	④センターの清掃状態について	90.5点	
利用者からの意見・要望とその対応	・今回のイベントにみなさんポジティブな感想ばかり頂いており、無事にイベント成功させることが出来ました。 ・初めて利用させていただき、細かいところまで親切に対応していただき、ありがとうございました。 ・事前打ち合わせから利用後の手続きまで、とても丁寧に対応していただきました。		

目標回答件数を下回ったものの、全ての項目において要求水準を上回った。

会場利用者の希望・要望を参考に施設運営を行い、目標値を上回る結果となった。

A	B	C	D
・令和5年度の下 半期は大規模改 修工事期間で休 館していたため に、回答件数は目 標回答件数を下 回ったものの、各 項目90点以上と いう、札幌市が求 める80点以上とい う水準を大きく上 回る目標を達成し ており、要求水準 を大幅に超えてい ると認められる。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	306,126	362,428	56,302
指定管理業務収入	287,330	347,602	60,272
指定管理費	0	0	0
利用料金	160,107	139,400	▲ 20,707
その他	127,223	208,202	80,979
自主事業収入	18,796	14,826	▲ 3,970
支出	260,905	315,770	54,865
指定管理業務支出	232,440	288,911	56,471
自主事業支出	28,465	26,859	▲ 1,606
収入-支出	45,221	46,658	1,437
利益還元	45,000	36,503	▲ 8,497
消費税(借受-仮払)	0	9,978	9,978
法人税等	88	71	▲ 17
純利益	133	106	▲ 27

稼働率が計画を上回ったことにより、収入は計画を上回った。

A	B	C	D
・全体の収支及び 指定管理業務の 収支は計画を上 回っており、要求 水準は達成してい ると認められる。			

▽ 説明

▼ 利益還元について

●札幌コンベンションセンターの管理に関する協定書第17条に定める利用料金の納付等に基づく利益還元該当

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼選定時と同様、安定経営能力を維持している。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 利用申込者に渡す利用案内に暴力団排除の文言を入れている。 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
誘致活動について、札幌市と札幌コンベンションビューローとの連携を強化し、国際会議・大型学会・インセンティブパーティーの誘致に取り組んだ。また、市内他施設との連携を強化し、市内全体を会場とするような大型MICEの誘致にも取り組んだ。 施設の維持管理においては、国際的な衛生基準である、『GBAC STAR™認証』を継続して取得し、国際的な水準の衛生環境を整えることができた。また、再生可能エネルギーの導入比率を高めることに取組み、環境に優しいMICEの開催にも取り組んだ。 再生可能エネルギーを100%使用した電力の導入や断熱フィルム貼付等を行い、施設の脱炭酸化・省エネ化を進めた。	長期的な視点では、札幌コンベンションセンター設立の趣旨に沿って、国際会議・国内大型会議を始めとした、MICEの誘致を引き続き行う。国際会議・大型学会のハイブリッド開催に向けて、開催環境の整備を進めていく。 市内他施設・団体との連携を強化して、大型MICEやインセンティブトラベル&ミーティングの誘致に取り組む。また、MICEの認知度アップに繋がる自主事業・プロモーション活動を行う。 サービスレベルを維持しながら再生可能エネルギーの導入や、一般廃棄ごみの減量を図り、環境に優しいMICEの開催に引き続き取り組むことで、MICEの誘致に繋げていく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
・施設管理に関しては、美観の維持に加え、GBAC STAR™認証の継続取得といった衛生環境の整備や、再生可能エネルギーの導入及び断熱フィルムの設置といった環境に配慮した運営がなされており、評価できる。 ・誘致活動に関しては、施設として大規模改修工事により下半期が休館している中でも、日々国内外のMICE誘致に注力しており、評価できる。	・施設管理に関しては、現水準を維持しつつ、環境に配慮した取組をさらに漸進させるとともに、多様化する利用者のニーズを的確に把握し、観光庁の補助メニュー等を活用するなど柔軟に対応することを期待する。 ・誘致活動については、手法や効果を検証することで効率化を図るとともに、プロモーション活動の積極的な実施を期待する。